

科目ナンバリング										
授業科目名 <英訳>		人文地理学各論III (歴史地理) Topics in Human Geography III(Historical Geography)				担当者所属 職名・氏名		文学研究科 教授 米家 泰作		
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	地域・文化(各論)			使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)			
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	月2		配当学年	全回生	対象学生	全学向	
【授業の概要・目的】										
<p>歴史を空間的な観点から研究する分野、「歴史地理学」の視点と成果を概説する授業です。歴史学と地理学の特色を併せもつ歴史地理学は、人間が長い年月をかけて作り上げてきた村落や都市、交通や領域のなかに潜む空間的な秩序に、関心を寄せてきました。また、そのような秩序のなかに生きる人間が、自らの地域や世界をどのように認識してきたかという「地理思想」の問題に取り組んできました。</p> <p>当授業では、具体的な事例を通じて歴史地理学の考え方に触れることで、過去を空間的に、そして現在を歴史的に捉える視点を養うことを目標とします。</p>										
【到達目標】										
<p>地理・景観・環境を歴史的に、そして歴史を空間的に捉える視点を身につけ、地域が歴史的に形成された秩序であることを考察する能力を養う。また私たちの地理的な知識や認識自体が、歴史的に形成され、特定の地理に根ざしていることを自覚し、それを相対化する力を身に付ける。</p>										
【授業計画と内容】										
<p>A 景観に刻まれた秩序</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 史料としての景観 京都に平安京を読む 2 方格化された農村 条里の景観 3 都市プランを読む 都城と城下町 <p>B 空間的秩序の形成</p> <ol style="list-style-type: none"> 4 空間の基礎単位 村落とコモンズ 5 都市のネットワーク 中心地論 6 時空間の制約 国境と自由をめぐる <p>C 古地図と空間認識</p> <ol style="list-style-type: none"> 7 世界を画像化する 前近代の世界地図 8 日本の自画像 前近代の日本地図 9 国土図と国家 空間管理の近代 <p>D 環境と地理思想</p> <ol style="list-style-type: none"> 10 風水地理 民俗知としての地理学 11 気候と文明 他者像と環境 12 風景の誕生 まなざしの社会化 <p>E 歴史と場所</p> <ol style="list-style-type: none"> 13 史蹟空間 歴史認識の場所 14 心象地理の近代 <p>期末試験</p> <ol style="list-style-type: none"> 15 期末試験 <p>フィードバックの方法については別途連絡します。</p>										
----- 人文地理学各論III (歴史地理) (2)へ続く -----										

人文地理学各論Ⅲ（歴史地理）(2)

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

定期試験（小論文）で評価します。その際、授業で示した視点の理解度と、受講生自身の考察の展開を、あわせて評価します。

【教科書】

使用しない
プリントによる資料等は授業中に配布します。

【参考書等】

（参考書）

足利健亮『地図から読む歴史』（講談社（学術文庫））ISBN:978-4062921084（歴史地理学の発想の楽しさを示す一書。）

有蘭正一郎ほか『歴史地理調査ハンドブック』（古今書院）ISBN:978-4772215671（日本の歴史地理学でよく用いられる史料やその分析手法を概観。）

B・グレアムほか『モダニティの歴史地理』（古今書院）ISBN:978-4772214704（英語圏の歴史地理学の動向を紹介。担当教員は訳者の一人。）

（関連URL）

<http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/sD3iQ>(京都大学教育研究活動データベース)

<https://www.facebook.com/komeie.taisaku>(フェイスブック)

【授業外学修（予習・復習）等】

毎回の授業で示す参考文献を読んだり、取り上げた地域を実際に訪問するなどして、主体的に関心を深めることを期待します。

【その他（オフィスアワー等）】

【主要授業科目（学部・学科名）】